※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２２

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次 （体育科）
使用教科書	詳述歴史総合　（実教出版）						
副教材等	詳述歴史総合　マイノート						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①教科書から課題をみつけ、探求するテーマを模索し、現代的や視野に立った解決策を検討していく。
②グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有意な形成者に必要な資質・能力を育成する観点で教材を精選・構成する。
③ＩＣＴを活用し、歴史的な諸課題について生徒が主体的に「調べ学習」やレポート作成などをおこない、興味関心にとどまることなく、問題解決の手がかりを発見できるよう援助する。
④生徒が全体の場で発表する機会を設け、主体的かつ相互に深め合える場を設定する。

２　学習の到達目標

① 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について世界とその中の日本を広く相互的視野から捉え、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念なども活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：近現代史の歴史の変化に関わる基本的な知識を時代の流れや各単元のテーマに沿って理解している。 技能：習得した知識を活用し、教科書の諸資料から必要な情報を適切に読み取り、まとめる。	・設定された問を解決するために近現代史における歴史的事象を多面的・多角的に考察する。 ・考察した内容を発表して説明する。文章化してまとめたものを、他者の意見も取り入れて整理する。	・設定された問に対して自分なりに意見をまとめる。他者と議論・意見交換するなど、主体的に近現代史における歴史的事象を学習する。 ・そのさい、さまざまな資料を活用し、思考・判断・表現できる力を身につける。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し評価する。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	近代化とわたしたち	①近代化への始動 ②欧米の市民革命と国民国家の形成	ａ：１８世紀のアジアの経済・社会やヨーロッパの近代社会について理解している。 産業革命・工業化と市民革命や国民統合の動向、国民国家の形成の過程を理解している。 ｂ：１８世紀のアジア諸国間の関係、欧米諸国との関係を多面的、多角的に考察し、表現している。ている。 Ｃ：１８世紀の社会、１９世紀の国民国家の形成に至る過程について興味・関心をもったこと、疑問に思ったことなどを主体的に見出そうとしている。	定期考査	定期考査 レポート 調べ学習 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

		①アジアの変容と日本の近代化 ②帝国主義の時代	ａ：１９世紀後半の日本の変革を欧米の市民革命や国民統合の動向などと関連付けて理解している。 列強の進出と植民地の形成、帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 ｂ：１９世紀後半のアジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的、多角的に考察し、表現している。 帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響について、主題を設定し、その特徴、列強間の関係の変容などを多面的、多角的に考察し、表現している。 ｃ：１９世紀後半のアジアと世界の歴史の変化にかかわる諸事象について自国や他国の歴史や文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。 帝国主義時代にかかわる諸事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及・解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表
		個人･グループによる調べ学習 ･「アジアの繁栄とヨーロッパ」 ･「アジアとヨーロッパの経済格差の大分岐」 ･文明化とむきあう東アジア諸国 ･博覧会における近代	ａ：それぞれのテーマについて教科書の資料を活用して、歴史の流れを理解している。 ｂ：テーマに沿って資料をまとめ、適切に表現できるようになる。 ｃ：それぞれのテーマについて自ら課題を設定し興味・関心を持ったこと、疑問に思ったこと、追及したいことなどを主体的に見出そうとしている。		レポート 調べ学習	レポート 発表

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和４年度以降入学生用

２ 学 期		①第一次世界大戦と大衆社会	a：第一次世界大戦の展開と戦後の国際協調体制を理解している。 大衆の政治参加、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b：第一次世界大戦の展開と戦後の世界について主題を設定し、日本とアジア、太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動の関連を多面的・多角的に考察し、表現している。 c：１９１０～１９２０年代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求・解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表
		②経済危機と第二次世界大戦	a：世界恐慌以後の国際協調体制の動揺を理解している。 第二次世界大戦の展開と戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰の過程を理解している。 b：各国の世界恐慌の対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 第二次世界大戦と戦後の国際情勢の推移について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：第一次世界停戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題解決追求・解決しようとしている。	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

		調べ学習 ・「２０世紀の女性と男性」 ・「戦争をささえる社会」 ・「戦争の記憶」	ａ：それぞれのテーマについて教科書の資料を活用して歴史の流れを理解している。 ｂ：テーマに沿って資料をまとめ、多面的・多角的に表現できるようになる。 ｃ：それぞれのテーマについて時代区分しながらその変化の過程を主体的に追求して学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		レポート	レポート 発表

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3 学 期		①冷戦と脱植民地化 ②多極化する社会	ａ：冷戦下の世界における国際関係の変化、またアジア・アフリカ諸国の脱植民地化の動きを理解できている。 石油危機・アジア諸地域の経済発展などの市場経済の変容と課題を理解している。 ｂ：米ソの冷戦の緊張と緩和を促した国際情勢について、教科書の資料を活用して適切に表現している。 資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して主題を設定し、日本とその他の国や地域を比較し、相互に関連付けるなどして、	定期考査	定期考査 レポート 提出ﾉｰﾄ	 レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

			特徴とその中での日本の役割を多面的・多角的に考察し表現している。 ｃ：１９７０～１９８０年代の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追求・解決しようとしている。			
		①グローバル化と私たち	ａ：冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散などの事象について理解できている。 ｂ：冷戦の終結から地域紛争の拡散までの流れと背景、その影響について主題を設定し、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：冷戦終結後の世界の歴史の変化に関わる諸事象についてより良い社会の実現を視野に課題を主体的に追求し、解決しようとしている。	定期考査	定期考査 提出ﾉｰﾄ	レポート 提出ﾉｰﾄ
		調べ学習 ・「1968年―「豊かな社会」でおこった「異議申し立て」」 ・「経済成長がもたらす課題」	ａ：それぞれのテーマに対して教科書の資料を活用して歴史の流れに対する理解をより深める。 ｂ：テーマに沿って資料をまとめ、多面的・多角的に表現できるようになる。 ｃ：現代の世界が抱える深刻な課題について問題点を明確にし、主体的に解決しようとしている。		レポート	レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度